



※左から、茅原さん、岡馬さん

インタビュー
Interview

20年間の感謝を胸に 新たな世界を創りたい 輝いている人



今年度の成人記念式実行委員会委員長を務める2人
岡馬 未濤さん（美袋）、茅原 麻衣さん（福井）

1月10日、市民会館で開催される成人記念式の実行委員会委員長が、岡馬未濤さんと茅原麻衣さんだ。

今年の式は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、1時間ずつの2部制で実施。総社西・昭和中学校出身者対象の第1部を岡馬さんが、総社東・総社中学校出身者対象の第2部を茅原さんが担当する。岡馬さんは、「ここまでこれたことに感謝し、新たな一歩を踏み出す節目の式になれば」と語る。時間の短縮や、間隔を空ける座席制限については、「短い中でいかに会場の一体感を出すかが苦労した点」と茅原さん。例年と異なる難しさがあるようだ。

式のテーマは、「ピース〜感謝を胸に、創ろう！新たな世界！〜」。茅原さんは、「人生は、日々の積み重ねや人とのつながりでできてい

る。その一つ一つがパズルのピースのようだと思います。このテーマになりました」と、思いを伝えてくれた。

式では、恩師からのビデオレターの上映や備中温羅太鼓の演奏が行われる。総社にまつわるクイズも行うので、楽しみにしてほしいとのことだ。記念品はボールペン。岡馬さんは、「記念品にもなり、使ってもらえるものという基準で選んだ。色やデザインもこだわりました」と話す。

現在、岡馬さんは就実大 学経営学部2年生。将来に向け、いろいろなことに興味をもって取り組んでいるという。茅原さんは岡山理科大学専門学校トリミング学科の2年生。トリマーになつて、社会で役立つことができる人になりたいそうだ。新たな世界へ向かう二人に期待している。

このコーナーでは、輝いている人を募集しています。あなたの周りにキラッと輝いている人がいたら、広報そうじゃ編集室（市政情報課）までご一報ください。自薦・他薦は問いません。

カメラ フォトニュース まちの話題

冬の光の祭典

SOJA イルミネーション 2020
コロナに打ち勝つ希望の光でまちを彩る SOJA イルミネーション 2020 の点灯式が 12 月 1 日、JR 総社駅前で行われました。ピアノとサクソの演奏とともにカウントダウンが行われ、辺りが一斉に点灯。訪れた人は、光の作品を写真に収めるなどして楽しんでいました。イルミネーションは、1 月 5 日(火)まで市役所通りや中央文化筋で行われています。



1 総社駅前ロータリーを彩るイルミネーション
2 チュッピーと一緒に記念撮影



●ミニフォト

地域で防火・防災に活躍



ミニ消防車「しょうたくん」

11 月 14 日、市消防本部から神在幼稚園幼年消防クラブにミニ消防車が贈呈されました。約 30 年前に消防署職員が造り、子どもへの防火・防災意識の啓発に活用してきたもの。これからは幼稚園で管理し活用されます。

心に響く音を届ける



メンバーが一体となって演奏

11 月 14 日、市民会館で琴伝流大正琴岡山県西部大会が開催されました。県内から参加した 12 グループが練習の成果を披露。館内には一体感のある合奏の美しい音色が響き、来場者を魅了していました。

人と人のふれあいを大切に



力を合わせて餅をつく

山田地区で 11 月 21 日、山田ふれあい市が開催されました。隔月開催の同市。この日は紙芝居やお茶席、餅つきなどが行われました。訪れた人は催しを楽しみながら、穏やかなひとときを過ごしていました。

良い新年を迎えるために



小学生もお飾りづくりに挑戦

12 月 11 日、神在小学校でお飾りづくり講習会が開催されました。地域住民や神在小学校の児童ら約 50 人が参加。参加者は穏やかな新年を迎えられるようにと願いながら、お飾りづくりに取り組んでいました。

復興を願う明かりをともし



美袋駅前のイルミネーション

JR 美袋駅前・日羽駅前と昭和公民館下倉分館・富山分館、なつ茶ん家（水内）の 5 か所で、頑張っているよ！昭和 災害復興イルミネーションが行われています。1 月 16 日(土)までの午後 5 時から午前 0 時まで点灯します。

障がいへの理解を深める



理解や配慮の大切さを考える

12 月 5 日、総合福祉センターで障がい福祉フォーラムが開催されました。岡山県社会福祉士会副会長の山崎弘一さんによる講演などが行われ、約 30 人が参加。感染症予防のため、事前予約やオンラインでの配信も実施しました。